

令和6年度 教科名等	国語		科						
科目名	対象学年	対象クラス				単位数	分類	予定時数	
文学国語	3	A	B	C	D	E	F	2	必修 70 時間

教科担当・教材等	
授業担当者名	
教科書	『文学国語』（筑摩書房）
使用教材等	『読解評論文キーワード改訂版』（筑摩書房）、『意味から学ぶ頻出漢字3000』（第一学習社）、『新国語総合ガイド五訂版』（京都書房）、『小説速読トレーニング』（数研出版）、『共通テスト対策実力養成重要問題演習現代文』（Learn-S）、『完成日本文学史ノート三訂版』（啓隆社）

科目の目標	
学習目標	【知識及び技能】 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

年間授業計画			
学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	A 「陰翳礼讃」 【知】言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思】筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	A 「陰翳礼讃」 ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思】筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。
	B 『鞆』 【知】作品における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解する。 【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【態】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとする。	B 『鞆』 ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】作品における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解する。 【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【態】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。
	C 『舞姫』 【知】作品における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解する。 【思】作品の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【態】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとする。	C 『舞姫』 ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】作品における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解する。 【思】作品の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【態】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。
2	D 「無常ということ」 【知】言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えながら内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	D 「無常ということ」 ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えながら内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。
	E 「問題演習」 【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の意味や文章における使われ方を理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えながら内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	E 「問題演習」 ・漢字の読み書きや語句の意味 ・共通テスト対策について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の意味や文章における使われ方を理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えながら内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。
3	F 「問題演習」 【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の意味や文章における使われ方を理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えながら内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	F 「問題演習」 ・漢字の読み書きや語句の意味 ・共通テスト対策について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の意味や文章における使われ方を理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えながら内容を解釈する。 【態】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。